

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第170号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成22年10月14日（木） 16時55分ごろ	
発生場所	福岡県福岡市博多港北西方沖 博多港西防波堤灯台から真方位305° 1,350m付近 （概位 北緯33° 37.5′ 東経130° 22.2′）	
事故等調査の経過	平成22年11月5日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 きんいん1、120トン	
船舶番号、船舶所有者等	134639、福岡市港湾局	
乗組員等に関する情報	機関長、三級海技士（機関）（履歴限定）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷主機の冷却清水系統の高圧ゴムホース用接続金具が腐食	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか1人が乗り組み、旅客4人を乗せ、博多港に向けて航行中、平成22年10月14日16時55分ごろ右舷主機の清水圧力低下警報（1.3kg/cm²設定）が発生した。</p> <p>本船は、機関長が機関室を点検したところ、右舷主機の冷却清水ポンプ（以下「清水ポンプ」という。）吐出口と排気マニホールド入口とを連結している高圧ゴムホース（以下「ホース」という。）の接続金具付近から清水が漏えいしていた。</p> <p>本船は、右舷主機を停止し、左舷主機単独で博多港に入港したのち、旅客を下船させた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m</p>	
その他の事項	<p>主機は、間接冷却式で、清水ポンプにより、清水が約2.2kg/cm²に加圧され、両バンクの排気マニホールド、過給機、主機等を冷却し、清水冷却器で海水と熱交換されたのち、同ポンプ吸入側に戻って循環するようになっていた。</p> <p>ホースは、両端がねじ締め式の接続金具で取り付けられていた。</p> <p>右舷主機は、排気マニホールド入口側のホース接続金具内部が腐食していた。</p> <p>本船は、平成18年1月の入渠時にホースを交換しており、外観上に異常は見られなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与	なし
	船体・機関等の関与	あり
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、博多港北西方沖を航行中、右舷主機冷却清水系統のホース接続金具の腐食部から冷却清水が漏えいしたため、右舷主機が冷却清水不足に

	<p>なったものと考えられる。</p> <p>接続金具は、経年使用されるうち、内部の腐食が進行して、清水が漏えいしたのと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、博多港北西沖を航行中、右舷主機冷却清水系統のホース接続金具の腐食部から冷却清水が漏えいしたため、右舷主機が冷却清水不足になったことにより発生したものと考えられる。</p>